

地域ベースのまちづくり活動

②地域がひとつにつながった ～向東地域のまちづくり～

向東地域では、平成22年度から「手をつなごう！次世代のために…」をメインテーマにした「東っ子まつり」を開催し、地域住民の世代をこえた交流の場として新しい賑わいを創出しています。

きっかけは？

向東地域では、16の区長会をはじめに地区社協や公衛協などの各種団体が日頃から連携し、地元小・中学校などと協働して地域のつながりを大切にしたまちづくり活動を行ってきました。

こうした地域性を活かし、各種文化活動や伝統文化の伝承を進めていくために、平成22年度から尾道市社会福祉協議会「ご近所だんご」事業を活用した「東っ子まつり」を開催しています。

賑わいづくりによる住民間同士のつながりは、地域の活性化に加えて、いざというときの防災にも役立つことから、安全・安心のまちづくりを進めていくうえで、大切な役割を担っています。

どんなことをしていますか？

「東っ子まつり」の開催に向けて、向東地区社協、区長会、青少年育成連絡協議会などが実行委員会を形成し、延べ8回もの会議を重ねて準備を進めてきました。

当日は、向東小・中学校（幼稚園・保育所）PTAをはじめ、地区社協、女性会、保健推進員、子育てサロン、家庭教育支援チーム“親ちから”などの各種団体が模擬店や展示コーナーを設け、2,300人ももの来場者で賑わいました。

会場づくりでは、地区体協が機材運搬を行い、地域安全推進協議会が会場警備に協力したほか、向東小・中学校の児童生徒・教職員が模擬店を応援する等、団体各々が得意分野をうまく活かした協働によって、スムーズな運営ができました。

会場内では小学校ジュニアコーラス・中学校ブラスバンド・市民吹奏楽団によるコンサートの開催をはじめ、地区体協によるグランドゴルフ大会の実施や地域に伝承されてきた“亥の子”を再現するなど、子どもから高齢者までが一緒になって楽しい一日を過ごし、地域住民の世代をこえた交流の場となりました。



模擬店のおてつだい（向東小学校児童）

よかったことは？

地域内の各種団体がひとつの目標に向かって何度も会議を持つことで、団体同士の協力関係が強まり、相互の情報共有の場にもなりました。さらに、学校を基点にして各種団体が協働して多彩なイベントを繰り広げることが出来たことから、世代をこえた新しい文化的な交流が生まれ、地域の絆が一層深まる機会になりました。

これから・・・

彦の上一区では毎月1回のサロン活動を行い、1月には地域住民の手づくりでとんど行事を催しました。

これからも地域ごとのサロン活動を積極的に行うなど、日頃のコミュニティ形成の充実に取り組んでいくことで、地域の絆を大切に安全・安心に暮らせるまちづくりを進めていきます。



とんど（彦の上一区）